

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 10

2008年12月16日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大産学連携広報より、お知らせやイベント情報をお届けします。  
<http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>からもご覧いただけます。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. イノベーション共同研究センター教員公募のお知らせ
2. 「相談会やらまいか！」のご案内
3. 「日韓連携国際シンポジウム」を開催します
4. 「東海INET外為法勉強会」を開催します
5. 産学交流会「日系企業の中国市場開拓へのポイント」のご案内

---

1. イノベーション共同研究センター教員公募のお知らせ

募集人員 准教授 1名  
任期 平成21年4月1日から5年間  
但し、本人の希望及び再任審査によって2回まで再任可  
勤務地 静岡キャンパス（週に2～3日）及び浜松キャンパス  
（常勤地は本人の希望による）  
応募締切 平成21年1月5日（月）必着（当日の消印可）  
採用予定 平成21年4月1日（水）以降  
詳細 <http://www.shizuoka.ac.jp/guide/20081202.html>  
問合せ 静岡大学イノベーション共同研究センター教員選考委員会  
委員長 木村雅和  
TEL 053-478-1703

---

2. 「相談会やらまいか！」のご案内

日時 平成20年12月17日（水）13:00～17:00  
場所 浜松市城北図書館2階 グループ研究室  
内容 起業・創業、経営相談など（1組50分程度）  
対象 起業や新規事業をお考えの方、中小企業経営者の方等  
定員 1時～、2時～、3時～、4時～ の計4組  
詳細 <http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/lifeindex/study/library/business/soudan.htm>  
問合せ 浜松市立城北図書館 担当 小野、山田  
TEL 053-474-1725

---

3. 「日韓連携国際シンポジウム」を開催します  
-静岡大学生物産業創出推進拠点第19回研究会-

テーマ ～グローバル化が進む生物産業～  
「日韓の特徴を活かした機能性食品産業の連携を考える」  
日時 平成20年12月19日（金）12:50～16:55  
会場 静岡県コンベンションアーツセンター  
「グランシップ」11階会議ホール風  
主催 静岡大学、静岡大学生物産業創出推進拠点ほか  
プログラム  
○「韓国健康機能性食品の発展と現状」  
韓国慶北大学農生命科学部 教授 鄭 信教氏

- 「日本における機能性食品市場の現状と今後」  
サントリー株式会社 健康科学センター所長 平島 隆行 氏
- 「韓国発酵産業の現状」  
Bioproducts、CJ社、取締役常務、  
研究開発センター所長 崔 宗秀氏
- 「キノコの機能性研究：機能性食品開発を目指して」  
静岡大学創造科学技術大学院 教授 河岸 洋和 氏

参加費 無料

詳細/申込 <http://bio.cjr.shizuoka.ac.jp/newpage4.html>

問合せ先 静岡大学生物産業創出推進拠点事務局 担当 平岡  
TEL 054-238-4631

---

#### 4. 「東海iNET外為法勉強会」を開催します

日時 2008年12月25日(木) 13:00~16:00  
会場 浜松アクトシティコンgresセンター4階43・44会議室  
主催 東海イノベーションネットワーク(東海iNET)  
プログラム 1. 挨拶 静岡大学学術情報部部長 大久保政博  
2. 講演「大学における輸出管理」  
財団法人安全保障貿易情報センター  
情報サービス・研修部次長 中尾寛氏  
3. 「大学が抱えている安全保障輸出管理に関する課題」  
静岡大学学術情報部産学連携支援課長 出崎一石  
4. 講演「企業の輸出管理と大学における輸出管理」  
(株)東芝輸出管理部参事 新留二郎氏  
5. 質疑応答  
6. 閉会挨拶 静岡大学理事、知的財産本部長 中村高遠

対象 大学の研究者、国際交流・総務・人事・財務・産学連携・  
知的財産の担当職員など

定員 100名  
参加費 無料  
詳細/申込 <http://ship.cjr.shizuoka.ac.jp/document/1225gaitame.pdf>  
問合せ先 静岡大学知的財産本部 担当 原  
TEL 053-478-1414

---

#### 5. 産学交流会「日系企業の中国市場開拓へのポイント」のご案内 -食品を中心としたビジネスチャンスと成功・失敗事例から学ぶその 留意点-

日時 2009年1月21日(水) 18:30~20:15  
【懇親会】20:15~20:45  
会場 静岡市産学交流センター6階 プレゼンテーションルーム  
主催 静岡市産学交流センター  
内容 ○「中国市場を活用した産業の活性化」  
静岡大学地域連携協働センター地域連携コーディネーター  
静岡大学名誉教授、明治大学特別招聘教授 土居 英二  
○「中国社会の食の安全への関心の高まりと  
日本企業のビジネスチャンス」  
静岡文化芸術大学文化政策学部国際文化学科教授 馬成三氏  
○「中国を市場として見たビジネスの成功事例・失敗事例」  
社団法人静岡県国際経済振興会 櫻井 渉氏

対象 中国ビジネスに関心がある経営者やフードビジネス関連業者、  
貿易、商社及び金融機関の方々

定員 先着30名  
参加費 無料（産学交流会・懇親会とも）  
詳細/申込 <http://www.hanjyou.jp/~b-nest/doc/sangaku/kouza/doc/sangaku0802.pdf>  
問合先 B-nest静岡市産学交流センター 担当 清原、尾崎  
TEL 054-275-1655

《 みんなのコラム 》

近頃オペラをよく観るようになりました。有名なモーツァルトの『フィガロの結婚』などは、劇場でもTV放映でも観ることのできる機会が多いのですが、マイナーな作品でも最近はNHK等で放送されることが増え、オペラ好きとして嬉しい限りです。

オペラは総合芸術。主役たる歌い手に魅了されますが、舞台演出に期待するのも大きな楽しみです。

日頃の産学連携活動をオペラに擬えてみると、主役は先生。研究内容と人柄でお客様を魅了します。私たちセンターのスタッフは黒子役。でも時として演出家。美しい音楽を奏でるのは、先生とお客様との信頼関係（ハーモニー）でしょうか。（記：齊藤久男）

《 編集後記 》

最近では、浜松市内にも点在するインキュベーション施設。

インキュベーション（Incubation）とは聞きなれない言葉ですが、「孵化（ふか）」を意味する言葉を転じてベンチャー企業に場所・インフラ・資金・ノウハウなどを提供することによって事業初期の困難を軽減して成長を促進することを目的とした事業体ないし施設をいいます。

イノベーション共同研究センターにも学内インキュベーションルームがあり、大学の技術シーズを活用して起業を目指す人などが入居しています。静大のインキュベーション入居でステップ、アップ。その後、起業して産業発展・新事業創出へジャンプ。こういう産学連携の形もあります。

\* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \*

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・購読中止のご連絡は、[sangakukoho50cjr.shizuoka.ac.jp](mailto:sangakukoho50cjr.shizuoka.ac.jp) までお願いします。（↑送付の際は〇欄に@を入れてください。）

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション共同研究センター  
編集：原典子  
編集責任者：木村雅和  
〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1  
TEL053-478-1414

\* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \*

by Copyright(c)2008-2009 Innovation and Joint Research Center, Shizuoka University. All rights reserved